

令和8年度 東京都立淵江高等学校 学校経営計画

1 目指す学校像	
綱 領	誠実 努力 実現
スローガン	踏み出す 力を 得る学び
スクールカラー	藍青色 (紺青)
【スクール・ミッション】	生命及び人権尊重の精神と、寛容及び協調の態度を持ち、中立公平な立場から自主的に判断ができる、社会性に富んだ人材としての資質を養うことを目指して、教科横断的な体験活動を通じて、将来に向けて学び続ける力、困難があってもやり通す力、他者との関係を築く力を育成します。
【教育目標】	ア 生命及び人権尊重の精神と、寛容及び協調の態度をもち、中立公平な立場から自主的に判断ができる社会性に富んだ人間としての資質を養う。 イ 知性の向上に努め、健全な情緒及び個性豊かな人間を育成する。 ウ 責任を持って意欲的に困難を克服しようとする人間を育成する。
【スクール・ポリシー】	(1) グラデュエーション・ポリシー：規範意識をもち、困難にめげず主体的に行動し、自他を尊重して、社会の中で貢献できる人間を育てる。 ① 集団の一員として、志をもちて学び続けることのできる生徒を育てる。 ② 将来を見通す力、社会に貢献できる力、新しい関係を築く力を育成する。 ③ キャリア教育を通して進路を見極め、充実した学習活動を展開し、希望の進路を実現する。 (2) カリキュラム・ポリシー：基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、主体的・協働的に課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力の育成を図る。 (3) アドミッション・ポリシー ① 自らの進路について主体的に考え、その実現に向けて努力する生徒 ② 学習活動に積極的に取り組み、良好な学業成績と良好な出席状況が期待できる生徒 ③ 学校行事や部活動また、「東京グローバル人材育成指針」（令和4年3月）を踏まえグローバル人材育成として国際交流やボランティア活動などに積極的に取り組んでいく生徒 ④ 本校の規則を遵守し、けじめと礼節のある生活を送ることができる生徒 ⑤ 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づいた取り組みに依り体力に向上及び健康の保持増進に努められる生徒
2 中期的目標と方策	
学習指導	【目標】 ◆新学習指導要領を踏まえた、基礎的・基本的な学力の定着と思考・判断・表現力・学びに向かう態度の育成 ◆人権尊重教育推進校として生徒及び教職員に対する人権感覚向上の醸成 【方策】 (1) スクール・ミッションを踏まえたスクール・ポリシーの具現化の推進 (2) 教科内、教科間、教科外活動との連携を深めた授業内容、方法の工夫と改善 (3) SDGsを見据えた、汎用的な思考力の育成、主体的、協働的な学習活動の推進 (4) 一人1台端末整備を踏まえた、オンライン学習等を含めたICT教育の推進
生徒指導	【目標】 ◆生活指導指針に基づいた、規範意識の育成、人権意識の涵養による望ましい人間関係能力の育成 ◆健康で安全な生活を送るための判断力、実行力の育成 ◆生徒指導提要（令和4年12月）、チャレンジサポートプラン（令和6年10月）、いじめ総合対策【第3次】等を遵守した生活指導の推進 【方策】 (1) 規律ある生活、ルール・マナーを遵守する指導の充実 (2) 豊かな人間性を涵養する人権教育の充実 (3) 安全指導や基礎体力向上に向けた指導の徹底 (4) コンディショニングレポートを用いた健康管理の推進（欠席、遅刻の確認率100%）
進路指導	【目標】 ◆適性に合った進路を見極めさせ、希望の進路を実現 【方策】 (1) 3年間を見通した計画的、組織的な進路指導体制の確立 (2) 外部機関と連携したキャリア教育の充実による進路意識の啓発 (3) 進路実現のための各種検定及び資格等取得の推進 (4) インターンシップ及び校内における企業説明会の推進
特別活動	【目標】 ◆学校行事、HR活動、部活動への自発的な参加と活性化 【方策】 (1) 生徒会活動の活性化及び各委員会、HR活動、部活動指導の工夫による、生徒の自信と意欲、意識の高揚 (2) ボランティア活動、国際交流の活性化
募集広報活動	【目標】 ◆応募倍率の向上と学校HP、SNS等の充実 【方策】 (1) 全教員による組織的な広報活動体制の構築（学校見学会、学校説明会、中学校訪問、塾訪問等） (2) ホームページ等による学校情報の発信とこまめな更新（特に学校の教育活動について発信）
学校経営組織体制	【目標】 ◆綱領の決定と新たなスローガンの策定 ◆企画調整会議・主幹会議の機能の向上及び各分掌・学年及びその連携による活性化と効率化 ◆管理運営規定を基盤とした各職の役割及び指示命令系統の確立 ◆経営企画室との連携推進と自律経営予算の有効活用の推進 【方策】 (1) 学校創立の歴史及び沿革等の確認し、学校に最適な普遍的な教育理念及び綱領を策定し、学校教育に浸透させる。（綱領の石碑、看板、懸垂幕、横断幕等の設置） (2) 各職による指示命令系統の下、分掌・学年間での頻繁な情報交換による課題、提案等の共有化 (3) 仕事の効率化、ライフ・ワーク・バランスの推進及び休業（育児）、産休の推進 (4) 校長の意思決定による計画的な予算要求と執行

3 今年度の取組目標と方策	
(1) 教育活動の目標と方策	
学習指導	【目標】 ◆基礎学力の定着と主体的、意欲的な学習態度の育成 【方策】 (1) 教員のデジタルスキルの向上とスマートスクール端末の活用（東京都学校教育情報化推進計画） (2) 「総合的な探究の時間」の指導体制の強化による探究活動の充実（TIPS-Type 2の有効活用） (3) 観点別評価の確実な実施 (4) 必要に応じて休業日や放課後等を活用した各種検定・資格試験対策指導、補習や講習による学習支援及び学習機会の確保 (5) 長期休業中における講習計画の充実 【数値目標】 (1) SDGsに関わる授業等を年度3回以上実施する。 (2) 授業等で、いじめ防止及びいのちの大切さに関する学習指導を年度3回以上実施する。 (3) 一人1台端末を活用したICTに係る授業を年度20回以上実施する。 (4) 教科間で情報共有し、教科横断的な授業等を年度3回以上実施する。 (5) 授業等で人権教育プログラムを活用した人権教育を各学期1回以上は実践する。（普遍的視点からの取組・個別的視点からの取組） (6) 長期休業中の講習について講座を1講座以上は開講する。

<p>生徒の健康づくり</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆規範意識の向上と基本的生活習慣の確立</li> <li>◆生徒の心身の健康を保持増進</li> <li>◆生活指導面からの人権教育推進（人権尊重教育推進校としての在り方）</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全教職員の共通理解による遅刻・頭髪・服装指導の実施及び自主的な防犯意識の醸成指導</li> <li>(2) 携帯・スマホの使用マナーの徹底及びセーフティ教室によるネットアクセス等の危険防止教育の推進</li> <li>(3) 交通安全教育、交通法規遵守の徹底、HR等を活用した安全教育の浸透</li> <li>(4) 学校行事、部活動等を活用した基礎体力の向上</li> <li>(5) 自立支援に関する情報共有を行い、必要に応じた通級指導等の実施（特別支援教育等の推進等）</li> <li>(6) SCやYSWと連携した相談活動の充実と組織的対応</li> <li>(7) すべての教育活動を通して自他を尊重する態度の育成</li> <li>(8) いのちの大切さを伝える指導、カウンセリングの充実によるいじめ、自殺の未然防止指導の実践（自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱）</li> <li>(9) アプリやデジタル機器等を活用した日々の生徒の健康管理と健康に関する情報発信</li> <li>(10) 校舎内外、HR教室、各教室等の清掃および整理整頓の徹底</li> </ol> <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権教育プログラム等を活用し、全校集会等にて人権課題に対する指導を年度1回以上実施する。</li> <li>(2) いじめ防止について授業等で各学期に1回以上（年度3回以上）は学習指導を実施する。（内1回は「SOSの出し方に関する教育」を教材として活用する。） 生活指導としては各学期長期休業前、1カ月以内に実施する。</li> <li>(3) 生命尊重・いのちの大切さについて授業等で各学期に1回以上（年度3回以上）は学習指導を実施する。</li> <li>(4) 人権尊重教育推進校として研究発表会を実施する。（年度に1回一般公開）</li> <li>(4) 自転車登下校生徒のヘルメット装着率100%を目標とした指導を実施する。</li> <li>(5) 体育的行事の参加率90%以上</li> <li>(6) 自立支援委員会を年度20回以上実施する。</li> <li>(7) 生徒個人ロッカーの施設率100%を目標とした指導を実施する。</li> </ol>
<p>進路指導</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒自らが将来の進路を真剣に考える姿勢の醸成及び進路の第1志望の実現</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 進路指導部と学年の連携による進路ガイダンスの充実</li> <li>(2) 生徒の具体的目標に合致した各種講習や模擬試験の実施</li> <li>(3) 外部機関や卒業生などを活用した講演会等を実施するなどのキャリア教育の工夫</li> <li>(4) 進路実現に向けた三者面談などの実施</li> </ol> <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主として3年生に対する論文・作文指導5回以上、面接指導10回以上</li> <li>(2) 新規企業訪問、上級学校訪問（大学、専門学校）1回以上</li> <li>(3) 授業等で、キャリア教育に係る学習指導を1、2年生3回、3年生1回以上実施する。</li> <li>(4) 各教科、「一人3検定」取得に向けて検定の紹介および推奨後、検定取得についての指導を実施（受検者合格率70%以上）※漢検・英検・数検は特に推奨する。</li> </ol>
<p>特別活動</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒会活動、各種委員会、学校行事、部活動などによる生徒の主体性や自信の獲得</li> <li>◆多様性を理解するために地域交流や海外学校間交流推進校として国際交流やボランティア活動の継続と充実</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒会執行部を主体とした各行事における実行委員の計画的な育成</li> <li>(2) 新型コロナウイルス感染症5類移行後の各行事の充実</li> <li>(3) ボランティア活動の積極的な活動の推進と生徒会活動の活性化</li> <li>(4) 海外学校間交流推進校及び学校2020レガシーとして国際交流、ボランティア活動、地域交流を通じた異文化理解、ボランティアマインドの育成及び共生社会に対する意識の醸成</li> </ol> <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 年度5回以上の（部活動）部長会議を実施し、各部活動同士の情報共有等に努める。内2回以上は主顧問も参加する。同時に壮行会・報告会等も実施する。</li> <li>(2) 学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインに基づき、時間、実施日を適切に活動する。（詳細P21参照一部改訂あり。） 学期中、長期休業中の休業日の設定について週当たり2日以上以上の休業日を設ける。1日の活動時間は、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日（祝日を含む。）及び長期休業中は3時間程度、週休日は少なくとも1日を休業日とする。【その他】長期休業中に一定期間のオフシーズンを設定すること。 週当たりの活動時間が11時間程度の範囲内に収まり、かつ、部活動指導員の配置等により、教員に過度な負担をかけずに活動を実施できる場合には、週当たり2日以上以上の休業日を設けたうえで、平日の活動を週3日以内に抑えつつ、休日に2日間連続して活動を行うなど、柔軟な対応を行うことも可能である。ただし、生徒の意思を確認するとともに</li> <li>(3) 体育系部活動は年度に3回以上大会等へ参加する。文科系部活動は年度に1回以上発表会への出場及び展示等を実施活動実績を外部に発信する。</li> <li>(4) 教科「人間と社会」の単元で生徒全員へボランティア活動に取り組ませる。それ以外は各ボランティアを生徒へ紹介し、ボランティアで1単位修得者10人以上を目標とする。（年度内のボランティア参加者は延べ200人以上）</li> <li>(5) 国際交流活動は学校行事の一環として生徒全員に年度3回以上実施する。</li> </ol>
<p>募集広報活動</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆教職員全員体制による募集・広報活動による応募倍率の向上</li> <li>◆入道方法についての検討</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校説明会、学校見学会、中学校・塾訪問の工夫と充実</li> <li>(2) 各種中学生進路相談会への参加</li> <li>(3) HPや掲示板の更新による日々の最新情報の発信および学校イメージ向上PR活動の実施（ポスター掲示、チラシ配布等の実施）</li> <li>(4) 都立高校PR事業の活用</li> <li>(5) 応募倍率に依り、文化・スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法について今後の在り方について検討及び改善決定する。</li> </ol> <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校説明会及び学校見学会等の参加者を650人以上。高校部活動体験を3回以上実施する（授業体験でも可）。</li> <li>(2) HP及びSNSを使用する情報発信の合計300回以上</li> <li>(3) 中学校訪問7月から9月の間に一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施（出張扱い）全教員合計4校以上</li> <li>(4) 中学生と本校生徒との部活動交流会年度に3回以上（運動系・文化系部活動問わず実施）</li> </ol>
<p>学校経営組織体制</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議と分掌部会・経営企画室との双方向性の維持と情報共有の徹底</li> <li>◆教職員の働き方改革の実現</li> <li>◆服務事故防止に関する取組の徹底</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 企画調整会議、各種会議による各組織間の連携強化と情報の共有化</li> <li>(2) 着実な予算申請、ヒアリング等による適正な自律予算、補正予算の編成と計画的な執行</li> <li>(3) 体罰禁止、個人情報等の徹底管理、コンプライアンスの周知徹底</li> <li>(4) 効率的な業務の遂行と業務のスリム化による教職員のライフ・ワーク・バランスの実現</li> </ol>

(2) 重点目標と方策																																																									
学習指導	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆授業規律の確立および一人1 台端末の積極的な活用</li> <li>◆学力向上推進校のシステムを活用した基礎学力の定着</li> <li>◆放課後等の補習・講習の実施による、基礎学力の定着と学習意欲の醸成</li> <li>◆誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を推進「東京都教育ビジョン（第5次）」の策定</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業時間を厳守する。</li> <li>(2) 月1回以上の教科会、また定期的な教科主任会により観点別評価の理解を深める。</li> <li>(3) 放課後または長期休業期間中の補習や講習の充実及び自習室の有効活用により、学習支援や就職SPI等の筆記試験対策及び進学対応を強化する。</li> <li>(4) 学習アプリを活用した自学自習を推進する。</li> <li>(5) デジタル機器を活用した授業を実践する。</li> </ol>																																																								
生徒生活指導	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学年と生徒保健部との連携による遅刻の減少</li> <li>◆身だしなみ違反者、携帯等のルール違反者を出さない指導の徹底</li> <li>◆学年と自立支援担当、YSW、SC等が連携し、中途退学防止</li> <li>◆問題行動の未然防止及び再発防止</li> <li>◆体力づくり</li> <li>◆東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校としての資格取得推進</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 登下校時、集会、HR、授業時等に全教員で身だしなみ指導を徹底する。</li> <li>(2) 学年集会等により生活指導を周知徹底し、生徒の把握及び早期対応を図る。</li> <li>(3) いじめアンケート、教育相談委員会等を活用し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。</li> <li>(4) SCやYSWと連携した教育相談活用を充実する。</li> <li>(5) 計画的な体育の授業、積極的な部活動参加を通して体力向上を図る。</li> <li>(6) 共通理解を図るため、生徒指導に関する悉皆の研修を定期的で開催する。</li> <li>(7) 災害時に自分の命を守り、身近な人を助け、避難所の運営など地域に貢献できる人材の育成（1学年生徒対象）</li> </ol>																																																								
進路指導	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒の進路希望の実現</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な進路を実現するため、教職員の共通理解を図るため進路指導に関する悉皆の研修を開催する。</li> <li>(2) 各学年で組織的、計画的な進路ガイダンスを実施し、生徒の進路意識を向上させる。</li> <li>(3) 三者面談等を活用して早い時期から進路実現に向けた意識を育成する。</li> <li>(4) ハローワーク、同窓会と連携して、講話などを通してキャリア教育を充実させる。</li> <li>(5) 自立支援事業を活用して、退学防止に努める。</li> </ol>																																																								
特別活動	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆行事の活性化とボランティア活動の推進</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部活動参加を促し、様々な体験を通して協調性、主体性などを養う。</li> <li>(2) 「ボランティア活動」を内外に発信し、積極的な活動を推進する。</li> <li>(3) 特別支援学校との交流を継続する。</li> <li>(4) 国際交流活動の推進を図る。</li> </ol>																																																								
募集広報活動	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆応募倍率の向上とHP、SNS発信の充実</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 夏期休業中の学校見学会は総務部及び日直対応で極力、毎日開催する。</li> <li>(2) 夏期休業中の中学校訪問は全教員で取り組む。（中学校訪問一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施 全教員合計4校以上）</li> <li>(3) 外部団体や中学校からの依頼については学校全体で対応する。</li> <li>(4) 必要に応じて中学校への出前授業を実施し、高校での授業を中学生にイメージさせる。</li> <li>(5) 生徒の活躍や学校行事等をタイムリーにHPや掲示板等で発信する。</li> <li>(6) 都立高校PR事業を活用し魅力ある学校動画を作成する。</li> </ol>																																																								
学校経営組織体制	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆綱領を学校教育の基盤とし、生徒、教職員、保護者へ周知する。その上で学校の教育活動を推進する。</li> <li>◆分掌間、教員と経営企画室、学年と分掌等の意思疎通と情報共有</li> <li>◆効率的な業務の推進（学校における働き方改革の推進プラン）及び未来型オフィスの整備事業の推進（職員室の環境改善事業）</li> <li>◆管理運営規定の下、指示命令系統を順守した学校運営を実施</li> </ul> <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校に最適かつ普遍的な教育理念及び綱領を策定し、学校教育に浸透させる。（綱領の石碑、看板、懸垂幕、横断幕等の設置）</li> <li>(2) 校長の定めた学校経営に即した適切な予算編成（予算編成指針）と予算執行を行う。</li> <li>(3) 教職員の個人情報管理とコンプライアンスの推進を徹底する。</li> <li>(4) ライフ・ワーク・バランスの実践のため、全教職員の時間外勤務時間を短縮させるよう意識改革と業務縮減の工夫を行う。 全体的及び各教職員ごとにタイムマネジメントを確立するとともに、定時退庁時間を定める。及び未来型オフィスの整備事業の推進（職員室の環境改善事業）を委員会にて計画的に推進していく。</li> <li>(5) 組織的な情報共有化を図るため、朝の打合せや電子掲示板を有効活用する。</li> <li>(6) 管理運営規定及び公務員としての指示命令系統等について正しい共通理解を図るための教育公務員等に係る研修及び自己研鑽を行う。</li> </ol>																																																								
主な数値目標（全体）	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>授業満足度</td> <td>90%以上</td> <td>学校説明会及び学校見学会等の参加者</td> <td>650人以上</td> </tr> <tr> <td>遅刻者</td> <td>1日25名以内</td> <td>中学校訪問一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施</td> <td>全教員合計4校以上</td> </tr> <tr> <td>特別指導件数</td> <td>10件以内</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育相談委員会開催回数</td> <td>15回以上</td> <td colspan="2">※その他の数値等は、上記各項目参照のこと。（数値目標は重視すること。）</td> </tr> <tr> <td>進路指導満足度</td> <td>90%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>進路決定率</td> <td>95%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>進級率</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>部活動等加入率</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボランティア個人参加者のべ人数</td> <td>150名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校HP、SNS等の更新回数</td> <td>300回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人3検定受賞者</td> <td>10人以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入選 推薦倍率</td> <td>1.8倍</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入選 学力倍率</td> <td>1.2倍</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>月の超勤時間</td> <td>4.5時間以内</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	授業満足度	90%以上	学校説明会及び学校見学会等の参加者	650人以上	遅刻者	1日25名以内	中学校訪問一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施	全教員合計4校以上	特別指導件数	10件以内			教育相談委員会開催回数	15回以上	※その他の数値等は、上記各項目参照のこと。（数値目標は重視すること。）		進路指導満足度	90%以上			進路決定率	95%以上			進級率	100%			部活動等加入率	100%			ボランティア個人参加者のべ人数	150名			学校HP、SNS等の更新回数	300回			一人3検定受賞者	10人以上			入選 推薦倍率	1.8倍			入選 学力倍率	1.2倍			月の超勤時間	4.5時間以内		
授業満足度	90%以上	学校説明会及び学校見学会等の参加者	650人以上																																																						
遅刻者	1日25名以内	中学校訪問一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施	全教員合計4校以上																																																						
特別指導件数	10件以内																																																								
教育相談委員会開催回数	15回以上	※その他の数値等は、上記各項目参照のこと。（数値目標は重視すること。）																																																							
進路指導満足度	90%以上																																																								
進路決定率	95%以上																																																								
進級率	100%																																																								
部活動等加入率	100%																																																								
ボランティア個人参加者のべ人数	150名																																																								
学校HP、SNS等の更新回数	300回																																																								
一人3検定受賞者	10人以上																																																								
入選 推薦倍率	1.8倍																																																								
入選 学力倍率	1.2倍																																																								
月の超勤時間	4.5時間以内																																																								